

事務事業マネジメントシート(令和 4年度実績と令和 5年度計画)

令和 6年 1月 9日 更新

事務事業名		地域福祉推進事業				<input checked="" type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input checked="" type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	2	福祉の健康			所属部	健康福祉部	課長名	小畑 英之
	施策	6	社会福祉の推進			所属課	福祉課	担当者名	松本 嘉奈恵
	施策の柱	23	地域福祉の推進			所属班	社会福祉班	(内線)	1152
予算科目		会計一般	款 3	項 1	目 1	事業連番 10430	根拠法令	社会福祉法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 4年度で終了 <input type="checkbox"/> 4年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域福祉とは、誰もが住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、地域住民や社会福祉関係者がお互いに協力して地域社会の福祉課題の解決に取り組む考え方である。</li> <li>・平成12年の社会福祉法の改正により「市町村地域福祉計画」策定の条文が追加され、合志市では、合併後の平成20年に策定し、平成24年度に第2期、平成29年度に第3期計画「地域福祉計画・地域福祉活動計画」(H30~R4)の策定を行った。現在、第3期計画により社会福祉協議会とともに地域福祉の推進を行っている、今年度は第4期計画の策定を行っている。</li> <li>・H31年度から、全世代型の地域包括ケアシステム構築に向けた国のモデル事業(地域力強化、多機関協働連携)を実施した。</li> </ul>
【業務の流れ】	①事業計画等の打ち合わせ②委託契約の締結③委託料の支払(前金払)④地区座談会等の開催⑤進捗状況の報告(随時)⑥実績報告⑦完了検査 ・地域福祉計画書5年ごとの見直し(平成29年度策定、第3期平成30~令和4年度)
【主な予算費目】	報酬・期末手当・時間外手当・旅費・委託料
【意見や要望】	

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
①手段(主な活動) 4年度実績(4年度に行った主な活動)(DO)	第3期地域福祉計画・地域福祉活動計画に基づく地域福祉事業を展開し、今年度は第4期計画を策定した。社協が行う地域福祉事業である地区社協やサロン事業を委託により実施し、福祉票(避難行動要支援者個別計画)の入力作業を依頼した。また、多機関協働包括的支援体制構築事業を委託により実施し、高齢者、障がい者、女性・子ども、生活困窮者など多様で、複合的課題がある住民のニーズに対応しコーディネートする相談員支援包括化推進員を配置した。	5年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN) 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画(R5~R9)に基づいた地域福祉事業を推進・実施する。令和6年度から重層的支援体制整備事業に移行するため、体制の協議・構築を行う。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア: 地域福祉支援事業委託数	(単位) 事業 予算の主な増減の理由 第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画策定等に係る委託料の減
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民	(単位) 人 ア: 市民
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	市民が住み慣れた地域で安心・安全に生活できるようになる。	(単位) % ア: 生きがいがあると答えた市民の割合
*③成果指標設定の理由と5年度目標値設定の根拠 第4期地域福祉計画の策定により、今後安心・安全に生活できるよう事業を展開していく。		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	2年度	3年度	4年度	4年度	5年度	6年度	7年度	8年度	
			実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
①	活動指標	事業	2	2	2	2	2	2	2	0	
②	対象指標	人	63,189	63,841	64,614	64,453	65,500	66,391	67,270	0	
③	成果指標	%	76.3	74.3	80	76.1	80	80	80	0	
投資	財源内訳	国庫支出金	千円	12,873	7,428	24,042	18,129	25,837	24,042	24,042	24,042
		都道府県支出金	千円			158	65				
		地方債	千円								
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円	13,909	21,162	19,522	24,642	12,522	13,549	13,549	13,549
入費	(A) 事業費計	千円	26,782	28,590	43,722	42,836	38,359	37,591	37,591	37,591	
	(A)のうち指定経費	千円	6	0	19	19	23	2,419	2,419	2,419	
	(A)のうち時間外、特別	千円	6	0	19	19	23	21	21	21	
人件費	正規職員従事人数	人	7	4	8	5	3	3	3	3	
	延べ業務時間	時間	560	500	0	905	0	0	0	0	
	(B)人件費計	千円	2,208	1,955	0	3,444	0	0	0	0	
トータルコスト(A)+(B)		千円	28,990	30,545	43,722	46,280	38,359	37,591	37,591	37,591	

事務事業名	地域福祉推進事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------	-----	-------	-----	-----

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は4年度の事後評価、ただし複数年度事業は4年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 4年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	② 5年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 第4期地域福祉計画の事業実施により達成の見込みがある。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 第4期の計画策定により、社会福祉協議会をはじめ、地域、事業所等との連携、協力の強化により向上の余地がある。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似する事業がない
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 住民の協力を得ることを前提にしているため、削減の余地はない。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 社会福祉協議会との密接な関係を持つために、協議等の時間が必要であり削減の余地はない。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域福祉法に基づく事業であり、市民全体を対象としているので公平・公正である。
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 社会福祉協議会に委託することにより役割分担が図られている。

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

地域福祉計画を基に地域福祉事業が図られており、地域のことは地域での考え方で立ち上がった「ぼっかぼか事業」や「サロン事業」が各ごとに地域広がりを見せている。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持																					
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p>																						